

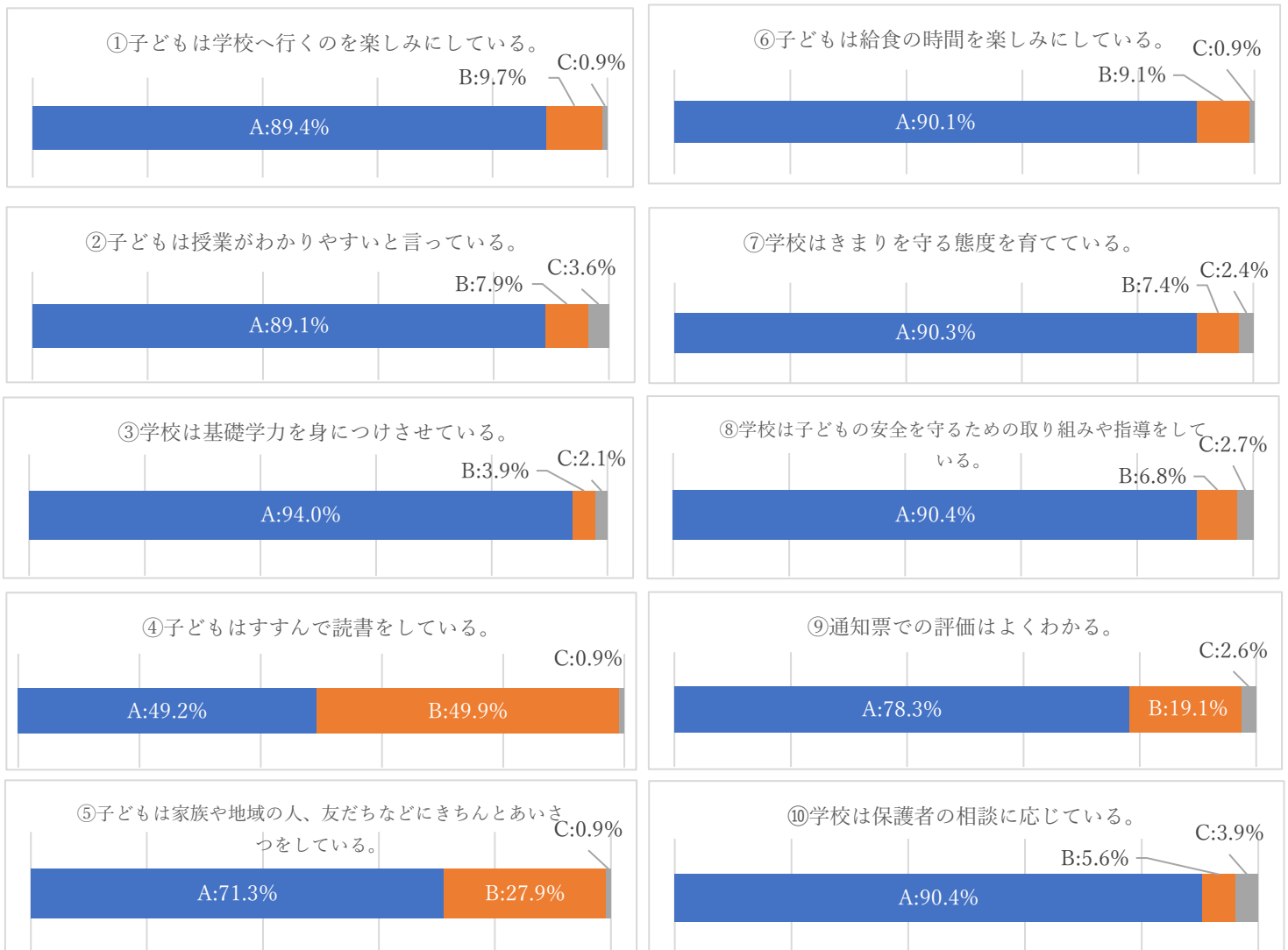
学校教育自己診断アンケート（保護者用）結果報告

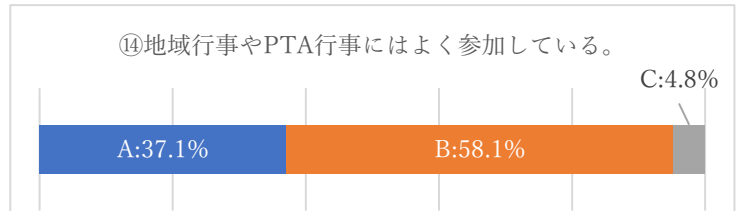
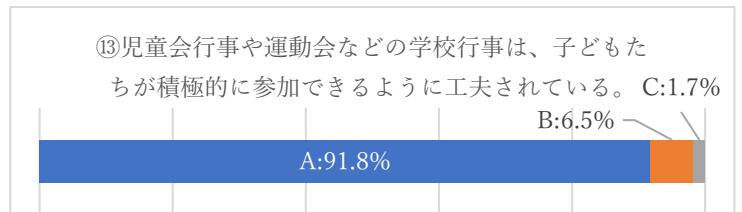
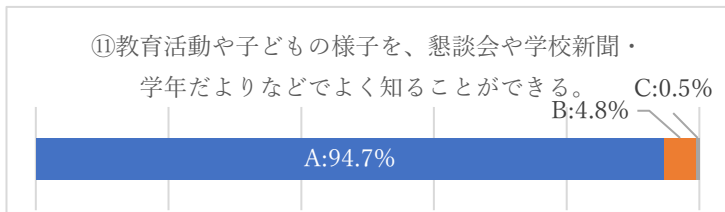
昨年12月に児童と保護者の方を対象に、「学校教育自己診断アンケート」を実施いたしました。ご協力いただいたき、ありがとうございます。遅くなりましたが、アンケートの集計が完了しましたのでご報告いたします。

アンケートの実施方法ですが、保護者の方には“Sigfy”のアンケート機能を使い回答していただきました。保護者の方760人（児童数）のうち今回585人の方にご回答いただき、回答率は76.6%でした。また、子どもたちは学校で各自のタブレット（1年生は紙面）を活用して、回答しました。

アンケートは5つの選択肢から1つ選んで答える選択式で行いました。「そう思う」「だいたいそう思う」を「肯定的評価」、「あまり思わない」「思わない」を「否定的評価」としてとらえて分析しております。回答結果は、子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするための学校改善・授業改善の資料として有効に活用してまいります。

以下のグラフは、左から「肯定的評価＝A」、「否定的評価＝B」、「わからない＝C」です。





- ①89.4% (昨年度 90.1% ▼0.7)
- ②89.1% (昨年度 89.1%)
- ③94.0% (昨年度 94.6% ▼0.6)
- ④49.2% (昨年度 50.9% ▼1.7)
- ⑤71.3% (昨年度 74.1% ▼2.8)
- ⑥90.1% (昨年度 89.7% △0.4)
- ⑦90.3% (昨年度 93.7% ▼3.4)
- ⑧90.4% (昨年度 91.7% ▼1.3)
- ⑨78.3% (昨年度 78.2% △0.1)
- ⑩90.4% (昨年度 92.6% ▼2.2)
- ⑪94.7% (昨年度 88.3% △6.4)
- ⑫67.9% (昨年度 65.0% △2.9)
- ⑬91.8% (昨年度 93.5% ▼1.7)
- ⑭37.1% (昨年度 39.5% ▼2.4)

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた「肯定的評価」は、9つの項目で85%を超えています。85%を超えていますので一定の理解が得られているものと思われませんが、同じく9つの項目で減少がみられました。とくに「⑤子どもは家族や地域の人、友だちなどにきちんと挨拶をしている」は2.8ポイント、「⑦学校はきまりを守る態度を育てている」については90%は超えています、3.4ポイントも下がっています。挨拶については、毎朝校門で児童を迎えている私も感じているところです。毎月来られるスクールガード・リーダーの方は「亀井の子は、よく挨拶ができていますね」と褒めておられたのですが…。今後も、教職員から率先して元気な声で迎えることを続けてまいります。

また、児童の学校での決まりやルールを守ろうとする意識は、校内トラブルを未然に防ぐことにも繋がります。決

まりが設定されている理由をしっかりと理解させたうえで、ルール徹底を図っていきます。「挨拶をしない」「黄帽をかぶらない」「登校班で来ない」など、最近めだつ項目はありますが、教職員が指導するのはもちろんのこと、ご家庭や地域の方の力も借りながら育成に努め、子どもたちの成長に繋げてまいります。

「⑩学校は保護者の相談に応じている」も90%は超えているのですが、2.2ポイント下がっています。約1割の方から「不十分」であるのご指摘いただいたこととなります。学校は、家庭と共通理解のもとで児童の成長を応援したいと考えていますので、評価が下がったことは非常に重く受け止めております。今後も必要に応じた速やかな保護者への連絡を心がけます。何かお困りのことがございましたら、遠慮なさらず学校へご連絡ください。

地域やPTAの行事や活動への参加については、4割を切ってしまいました。学校として、保護者の皆様とともに地域の皆様とも繋がる活動をどうすべきかを、しっかりと考えていきます。

一方、「⑪教育活動や子どもの様子を懇談会や『学校新聞』『学年だより』などでよく知ることができる」は6.4ポイントも上がりました。『学校新聞』『学年だより』など定期的なものだけでなく、学級通信を発行し続けている教員がいることも大きな要因であると考えられます。『かめっ子だより』も効果があったでしょうか。今後も、学校行事や地域行事、学校評議員会など、さまざまな機会を通じて積極的に教育方針や教育活動について発信を行ってまいります。

